



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マツキヨココカラ&カンパニー

コード番号 3088 URL <https://www.matsukiyococokara.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 清雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ管理統括財務戦略室長 (氏名) 西田 浩 (TEL) 03-6845-0005

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	248,222	9.2	17,450	41.2	18,645	37.5	11,997	51.3
2023年3月期第1四半期	227,209	65.3	12,360	72.8	13,563	69.8	7,930	56.2

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期13,776百万円 (55.2%) 2023年3月期第1四半期 8,874百万円 (67.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	86.07	86.04
2023年3月期第1四半期	56.11	56.10

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	691,523	490,607	70.9	3,515.57
2023年3月期	688,132	482,718	70.1	3,460.75

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 490,324百万円 2023年3月期 482,429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	40.00	-	45.00	85.00
2024年3月期	-	-	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	50.00	-	17.00	-

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行う予定であるため、2024年3月期の1株当たり配当予想につきましては、第2四半期末は株式分割前、期末は株式分割後の金額を記載しております。年間の配当予想につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割前ベースでの年間配当金は1株あたり101円00銭であります。

詳細については、本日(2023年8月10日)に公表いたしました「株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更、配当予想の修正(増配)並びに株主優待制度に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	475,000	2.1	30,000	5.9	32,000	4.5	19,500	5.4	46.63
通期	980,000	3.0	64,500	3.6	69,000	3.4	42,000	3.6	100.43

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行う予定であるため、第2四半期(累計)及び通期の1株当たり当期純利益は、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)は139円88銭、通期は301円29銭となります。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	142,966,710株	2023年3月期	142,966,710株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,494,621株	2023年3月期	3,566,351株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	139,400,932株	2023年3月期1Q	141,331,166株

(注) 期末自己株式数には、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式(2024年3月期1Q 143,978株、2023年3月期 143,978株)が含まれております。また、「役員報酬BIP信託口」及び「株式付与ESOP信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料の4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	13
売上及び仕入の状況	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

経営成績

当第1四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の5類感染症への移行や各種政策の効果もあり、雇用情勢や企業収益が改善する中で、個人消費や設備投資は持ち直しの動きが続いており、景気が緩やかに回復しておりますが、物価上昇や金融資本市場の変動等による下振れリスクにより、先行き不透明な状況が続いております。

ドラッグストア業界におきましても、業種・業態を越えた競合企業の新規出店、商圏拡大に向けた新たなエリアへの侵攻、M&Aによる規模拡大、同質化する異業種との競争、それらが要因となる狭小商圏化など、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が継続しております。

このような環境の中、当社グループの重点戦略は国内とグローバルに分け設定し、国内戦略として「お客様のライフステージに応じた価値提供」を戦略テーマに3つの重点戦略、①利便性の追求-お客様との繋がりの深化、②独自性の追求-体験やサービス提供の新化、③専門性の追求-トータルケアの進化と、グローバル戦略として「アジア市場での更なるプレゼンス向上」を戦略テーマに④グローバル事業の更なる拡大を重点戦略として設定し取組んでおります。PB(プライベートブランド)商品につきましては、パーソナライズを基軸にした新発想のヘアケアブランド「MQURE(エムキュア)」の販売を開始するとともに、順次新商品の展開を進めております。また、自社オンラインストアの店舗配送サービス「マツキヨココカラQ(キュー)」が本稼働するとともに、2023年6月よりマツモトキヨシグループとココカラファイングループのポイントサービス機能を統合し、1枚のカードで両グループ店舗のポイント付与及び使用が相互で利用できるようにすることによりお客様の利便性の向上を図っております。なお、経営統合によるシナジー実現に向けた取組みにつきましても、引き続き計画通り順調に進捗しております。2023年6月末現在における当社グループの顧客接点数は、1億3,734万となり、国内店舗数は3,420店舗(うち調剤薬局数935店舗、健康サポート薬局数144店舗)となりました。今後も4つの重点戦略を実行することで収益改善を図ってまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における主な経営成績は次のとおりであります。

	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	227,209	248,222	21,012	9.2
営業利益	12,360	17,450	5,090	41.2
経常利益	13,563	18,645	5,081	37.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,930	11,997	4,067	51.3

セグメントの業績は次のとおりであります。

		前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
マツモトキヨシ グループ事業	売上高	134,802	152,810	18,007	13.4
	セグメント利益	8,909	11,783	2,873	32.2
ココカラファイン グループ事業	売上高	91,911	94,894	2,983	3.2
	セグメント利益	3,548	4,987	1,438	40.5
管理サポート 事業	売上高	140,740	178,809	38,069	27.0
	セグメント利益	3,996	29,047	25,050	626.8
調整額	売上高	△140,244	△178,292	△38,047	—
	セグメント利益	△4,094	△28,367	△24,273	—
合計	売上高	227,209	248,222	21,012	9.2
	セグメント利益	12,360	17,450	5,090	41.2

<マツモトキヨシグループ事業>

4つの重点戦略に対して、以下の取組みを実行いたしました。

①利便性の追求-お客様との繋がり深化として、社会全体のデジタル化が進み、お客様のライフスタイルが変化しつつある中で、一人ひとりのお客様と深く繋がっていくことでニーズを的確に捉え、最も身近な存在となることが必要と考えております。そのため、デジタルと店舗網を活用したお客様に届ける仕組みづくり、様々な買い物スタイルの提供など、利便性を追求していくことで、お客様により深く寄り添う営業を目指しております。

②独自性の追求-体験やサービス提供の新化として、激しい競争環境の中で、お客様との様々な接点から蓄積されたデータと高いマーケティング分析力を活かし、お客様の価値観に基づいた商品・サービスや店舗モデルの開発、メーカー様向け広告配信事業の展開など、マツモトキヨシグループならではの独自性を追求していくことで、お客様に選ばれる企業を目指しております。PB（プライベートブランド）商品につきましては、「matsukiyo」から男性向け韓国スタイルのメイクシリーズ「iisam（イイサム）」の展開をスタートしたほか、「ザ・レチノタイム」「matsukiyo LAB」「レプリカノーツ」等からそれぞれ新商品を発売いたしました。

③専門性の追求-トータルケアの進化として、少子高齢化が進み、健康長寿社会の実現を目指すわが国においては、様々なお客様のライフステージに応じた質の高いサービスを提供することで、地域社会により大きな安心と喜びを提供していくことが求められていると考えております。そのため、セルフメディケーションの推進やオンラインを活用した服薬指導・接客などに加え、心と身体の両面でのビューティーケアなど、専門性を追求していくことで、地域包括ケアシステムを支え、すべての人がいつまでも美しく、健康で心豊かな生活を送れるよう取り組んでおります。2023年6月末現在、調剤薬局数は414店舗となり、厚生労働省の認可を受けた健康サポート薬局数は41店舗となりました。また、薬局経営支援サービスである調剤サポートプログラムの加盟店舗数は198店舗まで拡大いたしました。

④グローバル事業の更なる拡大では、アジアを中心とした新たな進出国の開拓や海外店舗展開、越境EC事業の拡大を図るため、海外SNSの活用やグローバル会員獲得によるアプローチ強化、グローバルで活躍する人材の開発、海外で支持される商品の開発などに積極的に取り組むことで、美と健康への意識が高まっているアジア地域での事業規模拡大とプレゼンス向上を目指しております。海外店舗展開として、2023年6月末の海外店舗数は、タイ王国で23店舗、台湾で21店舗、ベトナム社会主義共和国で5店舗、香港で6店舗の合計55店舗となりました。

また、マツモトキョシグループでは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い、都市部や繁華街、商業施設内等の人流が拡大したことで、医薬品及び化粧品、新発売やリニューアルしたPB（プライベートブランド）商品も順調に拡大しました。なお、この3年間に及ぶコロナ禍の中でも免税対応店舗数を戦略的に拡大したことで、回復しつつあるインバウンド需要の獲得にも繋がっております。

<ココカラファイングループ事業>

「利便性の追求-お客様との繋がりの深化」「独自性の追求-体験やサービス提供の新化」「専門性の追求-トータルケアの進化」という3つの国内重点戦略に対して、マツモトキョシグループと同様の取組みを実行いたしました。

また、ココカラファイングループでは、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことに伴い、都市部の店舗や駅前立地の店舗を中心に医薬品及び化粧品、新発売やリニューアルしたPB（プライベートブランド）商品が好調に推移すると共に、マツモトキョシグループで培ったKPI（重要業績評価指標）管理を徹底し、ロイヤルカスタマー醸成に向けた効率的かつ効果的な販促策を実行することで、更なる収益性の改善に努めてまいりました。なお、2023年6月末現在、調剤薬局数は521店舗となり、健康サポート薬局数は103店舗となりました。

国内店舗の出退店の状況につきましては、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間は、今後の成長に向けた店舗網の最適化を図るため、人的・物的な経営資源を有効に活用し、個別店舗における店歴や店舗面積、収益見通し等を鑑み、スクラップ&ビルドを推進しております。

（単位：店舗）

	2023年3月31日 現在の店舗数	出店	閉店	2023年6月30日 現在の店舗数
マツモトキョシグループ	1,863	22	15	1,870
ココカラファイングループ	1,546	13	9	1,550
合計	3,409	35	24	3,420

<管理サポート事業>

当社グループ会社を取り扱う商品の仕入や当社グループ会社の経営管理・統轄、その間接業務の受託業務、当社グループ会社からの配当金収入及び、外部への商品供給・施工業務・広告宣伝等を行っており、業務活動の範囲も拡大しております。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べて33億91百万円増加して6,915億23百万円となりました。これは主に商品が45億73百万円、投資有価証券が25億32百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が55億94百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、44億98百万円減少して2,009億15百万円となりました。これは主に未払法人税等が97億43百万円減少したものの、買掛金が53億80百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、78億89百万円増加して4,906億7百万円となりました。これは主に、利益剰余金が57億18百万円、その他有価証券評価差額金が17億10百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	95,224	89,630
売掛金	55,470	55,764
商品	135,937	140,510
貯蔵品	543	540
その他	42,668	44,630
貸倒引当金	△36	△37
流動資産合計	329,808	331,038
固定資産		
有形固定資産		
土地	52,014	52,014
その他	57,656	59,524
有形固定資産合計	109,671	111,539
無形固定資産		
のれん	113,125	111,479
その他	24,829	25,830
無形固定資産合計	137,954	137,309
投資その他の資産		
投資有価証券	27,476	30,009
敷金及び保証金	61,356	61,890
その他	22,003	19,881
貸倒引当金	△140	△146
投資その他の資産合計	110,697	111,635
固定資産合計	358,323	360,484
資産合計	688,132	691,523

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	102,442	107,823
未払法人税等	14,285	4,542
短期借入金	995	963
賞与引当金	6,235	2,750
ポイント引当金	62	68
契約負債	3,424	3,819
資産除去債務	2	24
その他	25,820	27,772
流動負債合計	153,270	147,765
固定負債		
長期借入金	18,400	18,400
債務保証損失引当金	231	227
株式給付引当金	186	258
役員株式給付引当金	39	39
退職給付に係る負債	5,898	5,974
資産除去債務	11,503	11,686
その他	15,884	16,562
固定負債合計	52,143	53,150
負債合計	205,413	200,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,051	22,051
資本剰余金	205,977	206,073
利益剰余金	262,001	267,720
自己株式	△18,094	△17,731
株主資本合計	471,937	478,114
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,547	12,257
為替換算調整勘定	△98	△95
退職給付に係る調整累計額	42	48
その他の包括利益累計額合計	10,492	12,210
新株予約権	43	43
非支配株主持分	245	240
純資産合計	482,718	490,607
負債純資産合計	688,132	691,523

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	227,209	248,222
売上原価	150,534	164,022
売上総利益	76,674	84,199
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	1	5
給料及び手当	22,795	22,722
賞与引当金繰入額	2,796	2,712
退職給付費用	605	613
地代家賃	16,463	17,400
その他	21,651	23,292
販売費及び一般管理費合計	64,313	66,748
営業利益	12,360	17,450
営業外収益		
受取利息	30	33
受取配当金	165	180
固定資産受贈益	151	150
発注処理手数料	521	538
情報提供料収入	156	146
その他	218	170
営業外収益合計	1,244	1,219
営業外費用		
支払利息	10	14
債務保証損失引当金繰入額	12	—
現金過不足	0	1
その他	18	9
営業外費用合計	41	24
経常利益	13,563	18,645
特別利益		
固定資産売却益	—	26
特別利益合計	—	26
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	66	83
投資有価証券売却損	—	38
店舗閉鎖損失	84	62
減損損失	22	9
災害による損失	28	26
特別損失合計	202	220
税金等調整前四半期純利益	13,360	18,451
法人税、住民税及び事業税	1,445	4,209
法人税等調整額	3,923	2,183
法人税等合計	5,368	6,392
四半期純利益	7,992	12,058
非支配株主に帰属する四半期純利益	61	60
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,930	11,997

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,992	12,058
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	878	1,710
退職給付に係る調整額	△0	5
為替換算調整勘定	3	2
その他の包括利益合計	881	1,717
四半期包括利益	8,874	13,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,812	13,715
非支配株主に係る四半期包括利益	61	60

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイ ングループ事業	管理サポート 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	134,551	91,841	816	227,209	—	227,209
セグメント間の 内部売上高又は振替高	250	69	139,924	140,244	△140,244	—
計	134,802	91,911	140,740	367,454	△140,244	227,209
セグメント利益	8,909	3,548	3,996	16,454	△4,094	12,360

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,094百万円には、セグメント間取引消去△4,094百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額22百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「マツモトキヨシグループ事業」で18百万円、「ココカラファイグループ事業」で3百万円となっております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	マツモトキヨシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	合計	調整額 (注)1	四半期連結損益計算 書計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	152,559	94,890	771	248,222	—	248,222
セグメント間の 内部売上高又は振替高	250	3	178,038	178,292	△178,292	—
計	152,810	94,894	178,809	426,515	△178,292	248,222
セグメント利益	11,783	4,987	29,047	45,818	△28,367	17,450

(注) 1. セグメント利益の調整額△28,367百万円には、セグメント間取引消去△28,367百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として店舗を基本単位とし、遊休資産については物件単位ごとにグルーピングしております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び土地等の時価の下落が著しい資産グループについては、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額9百万円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

報告セグメントごとの計上額は、「マツモトキヨシグループ事業」で7百万円、「ココカラファイングループ事業」で2百万円となっております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

顧客との契約から生じる収益を分解した情報では、各報告セグメントの売上高を顧客との契約から生じる収益とその他の収益に分解し、さらに顧客との契約から生じる収益を、小売販売に係る売上高とそれ以外の売上高に分解しております。

前第1四半期連結累計期間（自2022年4月1日至2022年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	マツモトキョシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	
小売				
医薬品	39,608	36,568	—	76,177
化粧品	45,756	27,181	—	72,938
日用品	28,738	18,760	—	47,499
食品	12,731	7,637	—	20,368
その他(注) 1	7,165	1,581	701	9,448
顧客との契約から生じる収益	134,000	91,730	701	226,432
その他の収益(注) 2	551	110	115	777
外部顧客への売上高	134,551	91,841	816	227,209

(注) 1 卸売事業における売上高、広告宣伝に係る売上高等が含まれます。

2 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入が含まれます。

当第1四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	マツモトキョシ グループ事業	ココカラファイン グループ事業	管理サポート 事業	
小売				
医薬品	46,141	39,050	—	85,192
化粧品	52,781	28,058	—	80,840
日用品(注) 1	30,130	18,398	—	48,528
食品	14,261	7,548	—	21,810
その他(注) 2	8,728	1,670	674	11,072
顧客との契約から生じる収益	152,043	94,726	674	247,444
その他の収益(注) 3	516	164	97	777
外部顧客への売上高	152,559	94,890	771	248,222

(注) 1 当第1四半期連結会計期間より、商品別名称を統一することを目的として、従来「雑貨」としておりました名称を「日用品」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、その内容に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結会計期間についても変更後の名称で記載しております。

2 卸売事業における売上高、広告宣伝に係る売上高等が含まれます。

3 企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」に基づく不動産賃貸収入が含まれます。

(重要な後発事象)

株式の分割について

当社は、2023年8月10日開催の取締役会において、株式の分割につきまして下記のとおり決議いたしました。

1. 株式分割の目的

株式分割を行い、当社株式の投資単位あたりの金額を引き下げることにより、投資家の皆さまがより投資しやすい環境を整え、当社株式の流動性を高めることと投資家層の更なる拡大を図ることを目的としております。

2. 株式分割の概要

(1) 株式分割の方法

2023年9月30日(土曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき3株の割合をもって分割いたします。

(2) 株式分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	142,966,710株
②今回の分割により増加する株式数	285,933,420株
③株式分割後の発行済株式総数	428,900,130株
④株式分割後の発行可能株式総数	1,260,000,000株

※上記①～③の株式数について、本取締役会決議日から株式分割の基準日までの間に新株予約権の行使により株式数が増加する可能性があります。

(3) 株式分割の日程

①基準日公告日	2023年9月15日(金曜日)
②基準日	2023年9月30日(土曜日)※
③効力発生日	2023年10月1日(日曜日)
※当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2023年9月29日(金曜日)	

(4) 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円70銭	28円69銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	18円70銭	28円68銭

3. 補足情報

売上及び仕入の状況

(1) 事業部門別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント別	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
マツモトキヨシグループ事業	152,559	13.4%
ココカラファイングループ事業	94,890	3.3%
管理サポート事業	771	△5.5%
合計	248,222	9.2%

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。

(2) 商品別売上状況

当第1四半期連結累計期間の売上実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
医薬品	85,192	111.8%
化粧品	80,840	110.8%
日用品(注)1	48,528	102.2%
食品	21,810	107.1%
合計	236,371	108.9%

(注)1 当第1四半期連結会計期間より、商品別名称を統一することを目的として、従来「雑貨」としておりました名称を「日用品」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、その内容に与える影響はありません。

2 商品別売上状況は管理サポート事業を除いております。また、上記の金額には営業収入(テナントからの受取家賃及びフランチャイジーからのロイヤルティ収入等)は含まれておりません。

(3) 商品別仕入状況

当第1四半期連結累計期間の仕入実績を商品ごとに示すと、次のとおりであります。

商品別	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)
医薬品	53,478	111.4%
化粧品	55,823	113.1%
日用品(注)1	36,407	110.2%
食品	19,865	113.3%
合計	165,574	111.9%

(注)1 当第1四半期連結会計期間より、商品別名称を統一することを目的として、従来「雑貨」としておりました名称を「日用品」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、その内容に与える影響はありません。

2 商品別仕入状況は管理サポート事業を除いております。